

6 推進会議全体を通じての推進会議委員の感想

推進会議委員の感想
<p>知識は力だと思う。 その知識をどこから得るかという、区民は、やはり広報誌や、区役所の情報発信からだと思う。 各委員の意見を聞きながら、そのことを念頭に置いて、より多くの区民の方へ情報が発信できるような仕組みを、区で考えていただきたいという思いを新たにしたい。</p>
<p>3回の会議で、私も本当に様々なことを学ばせていただいた。 私は、日々、様々な方の相談を承っている立場だが、区が行っている事業も念頭に置いて、今後も業務をしていきたい。</p>
<p>今年度も3回会議に参加させていただき、私自身もとても大きな学びであったと感じている。 特に、今の若い世代の人たちがどういう教育を受けてきたかで、20年後、30年後が変わっていくのではないかと感じた。 社会的な地位のある男性が、70代、80代になったときに、家庭内での生活力がないというところで困難に陥っている方も多く見ている。 そういった方が増えないように、家庭内での男女の役割分担意識等を、若い人たちにしっかり気付いていただく、 そういったことが、より良い未来、より良い江戸川区に繋がっていくのではないかと思っている。 身寄りのない独居の高齢者の方も増えており、介護保険で対応しきれないことも多くの場面である。 そういったことが少しでも少なくなるような生活力というものは、若いうちから培っていかないと、高齢になってからはなかなか身に付かないなと感じている。</p>
<p>区の様々な施策を、いかに区民に届けるかというところで、小P連としても、何か協力できることがあれば、協力していこうと思っている。 今年度、小P連のポータルサイトを立ち上げ、PTAの活動等を広めていこうという努力をすところなので、何か協力できることがあれば、協力していきたいと思っている。</p>
<p>会議資料を見る度に、区の非常に多岐に渡る施策や苦勞がうかがえるようなもので、大変だといつも思っている。 それを通して、私も様々考えることもあり、過去の知り合いの人等の顔が浮かび、資料を見ながら、こんな制度がもし利用できていればもう少し違うことができたのかと思うことも多い。 そういうこともあり、やはり、広報を通じてこういった施策が多くの人に届くといいのかなと思っている。 なかなか苦勞されることだとは思いますが、今は、SNSの力を侮れないので、特に若い人たちには、そういった媒体の方が訴求効果は高いので、 区で苦勞して作り上げた施策が区民の皆さんに届くように願っている。</p>
<p>今年度は3回出席したが、各委員の非常に建設的なご意見を伺うことができ、非常に勉強になったなと思っている。 また、これだけの資料をまとめた職員の方の努力に本当に感心する。 支援等が本当に必要な方たちに、区の方でも様々な施策を考えているんだということで、ぜひ利用していただけるように、周知することは、これから本当に大切なことなのだろうと思った。</p>
<p>本当に勉強になるご意見が各委員から出ており、とても有意義な会議に参加させていただいたと思っている。 オンライン形式は、移動する時間も省けるので、とても良いと思う。 コロナ禍のときはオンライン会議が多かったが、コロナ禍が少し収まり、今は、対面での会議がとても重要じゃないかという意見のもとで、オンラインが少なくなっている気がする。 そういった中で、このオンライン会議は、時間のなかなか取れない委員も含めて、皆さんが参加できる良い場面なのかなと思っている。</p>
<p>厳しい意見も言ったが、江戸川区の施策は本当に多岐に渡り、非常に素晴らしいと思っている。 そのため、施策をより多くの区民に周知してもらい、利用していただくという点が、今後の一番の課題ではないかと思っている。</p>